

総評

理科が難しく、社会や英語も難しめで、平均点はやや低めになりました。中2内容を中心に、中1内容も幅広く盛り込まれた出題で、形式も入試に近くなり、難しく感じた人もいるかもしれません。

入試や道コンなどの試験は、基本事項の組み合わせでできています。難しく感じられる問題も、要素に分解すると教科書の基本内容に落としこむことができます。どんな要素から成り立っていたのかを地道に見直すことで、知識を活用するコツが身につきます。

2年生の秋・冬は、入試に向けての基礎固めとして非常に重要で、成績が急に下がってしまう人が多い時期です。2年生までの内容をしっかり固めてしまえば、今後の学習は非常にスムーズになります。入試へのスタートとして、1・2年の内容をしっかりまとめましょう。

国語

標準的な出題でした。

㊦は漢字の読み書きの得点率が、「潰す」の読みを除いて、全体的に低くなりました。中学校だけではなく、小学校で習った漢字も復習しておきましょう。問三は(2)①の短歌の句切れの問いの得点率が低くなりました。短歌の句切れに加えて、短歌の形式や表現技法などもあわせて確認しておきましょう。

㊧の小説は読みやすく、全体によくできていました。㊨の論説文は、全体的に難しかったようです。繰り返されている表現に注意して、筆者の主張をとらえましょう。問一は品詞の問題です。品詞の種類と識別の仕方を確認しておきましょう。㊩は全体によくできていました。漢文の返り点のきまりをしっかりとおさえておきましょう。

数学

特別な難問はありませんでしたが、少しひねった問題が多く、不注意から得点が下がってしまった人もいるかもしれません。①の問5、資料の活用は、授業でしっかり習っていない人もいるかもしれませんが、入試では必出です。相対度数や代表値の用語の意味や求め方を確認しましょう。問7の回転体の体積は、いったん身につけてしまえば心強い得点源となります。できる形をイメージして復習してみましょう。②は、近年の入試で出題頻度の高い重要単元です。問2は、式がかけなくてもグラフをかいて解くことができます。

⑤問1、北海道の入試では毎年必ず証明問題が出題されます。今回の問題も、穴埋めではなく全体を書いて証明できるように練習しましょう。努力は確実に力になります！

社会

やや難しい出題でした。

地理分野では、①問4(2)の資料活用の問題が難しかったようです。輸出額を求める問題は入試でもよく出題されます。計算方法をもう一度確認するようにしましょう。また、④問2の資料活用の問題では、「企業と大学が多いから」というような答案が目立ちました。大切なのは「通勤・通学が多い」ことです。資料と表を関連づけて答えるようにしましょう。

歴史分野では、⑤問7、⑨問7の年代並べかえの問題が難しかったようです。歴史ではできごとだけではなく、各時代の特徴や前後の流れも覚えるようにしましょう。また、⑦問7(2)は、鎖国に関する出題でした。江戸時代の日本と外国との交易などについて、もう一度よく確認するようにしてください。

理科

非常に難しい出題でした。

①～④の共通問題では、④の一部で得点率が80%を上回ったものの、他は全体にかなり低くなりました。特に、①、②は、どちらも1年生での学習内容であり、応用力が必要とされる問題が多かったため、非常に難しい出題となりました。1年生内容を学習し直す機会は多くありません。このような模試で出題されたときなどを利用して復習しておきましょう。

⑤～⑨は、思考力が必要な問題や、計算問題の得点率が低くなりました。高い得点を目指すには、このような計算問題や、思考力・応用力が問われる問題に対応できるかが重要です。演習をくり返すことで対応力を身につけることができます。3年生になる前の今のうちに取り組んでおきましょう。

英語

難しい出題でした。全体にあまり得点が伸びず、得点率が20%を下回る問いも見られました。今回間違えた問題は3年生になる前にしっかりと復習し、定着させておきましょう。

①のリスニングでは、問1のNo.2の得点率が18%と非常に低くなりました。noonが聞き取れなかったかもしれません。放送台本を確認しておきましょう。また問2 No.2も得点率が35%と低かったようです。公立校入試でも出題される形式です。長めの応答文にも対応できるように練習しておきましょう。

②問3、③問2はどちらも文脈上適切な単語を書き入れる問題でしたが、得点率が低くなりました。文法的な知識も求められるので、難度が高くなります。類似問題で十分に対策をしておきましょう。